

大安寺報

お盆行事のご紹介

今年もまた、ご先祖さまや亡き人々をお迎えするお盆が巡ってきました。お盆は、インドにおいて、雨季の修行期間の最終日に、阿難尊者が亡き母のために、共に修行した僧侶を供養したのが始まりとされています。今や日本の風物詩ともなったこの行事。旧盆中は、都会に出ていた方々が郷里に帰り、ご先祖さまのご供養をされ、また、家族や友人と交流する賑やかかつ和やかな風景が戻ってきます。では、当寺における今年のお盆行事を順にご紹介してまいります。

まず、お盆の入りの十三日。この日は、沢山の方々が、朝早くから位牌堂やお墓にお参りにお出でになります。「法界(ほかい)折」と呼ばれる容器に、煮しめなどの料理を詰めた「法界料理」をお供えし、また、ご先祖さまの前でそれを共に頂きます。この、亡き人々と今を生きる人々が食事を共にする行為を「共食」といいます。お互いの絆を深め、亡き人々を偲ぶ大切なこの文化を残していきたいものです。

また、この日は「迎え火」の日。当寺ではこれまで、各々のお墓にともしびをお供え頂いておりましたが、昨年「迎え火」の行事として、「迎え火キャンドルナイト」(十七時半より)を開催しております。ご先祖さまをキャンドルのともしびでお迎えするこの行事。今年、中国の伝統楽器・二胡の奏者である、阿部かなえさんと田中とおるさん(シンセサイザー)をお招きし、本堂にて奉納コンサートを行います。哀愁漂う二胡の響きと、キャンドルの柔らかな光に包まれながら、皆さんとともに亡き人々を偲びましょう。そして、お盆の最終日にあたる十六日。この日は午前十一時より、「施食会法要並びにとうろう供養法要」を開催いたします。施食会は、全ての精霊に対し食事を布施し、その功德をご先祖さまたちに廻らす法要です。とうろう供養の法要の後、住職より法話があります。

お盆を締めくくる「とうろう流し」(主催:大安寺 保勝会)は、大畑川・下の橋付近で同日十八時半から。読経とご詠歌が流れる中、ゆらゆらと川面を流れゆくとうろうに乗せてご先祖さまをお見送りいたします。

また、この日は「迎え火」の日。当寺ではこれまで、各々のお墓にともしびをお供え頂いておりましたが、昨年「迎え火」の行事として、「迎え火キャンドルナイト」(十七時半より)を開催しております。ご先祖さまをキャンドルのともしびでお迎えするこの行事。今年、中国の伝統楽器・二胡の奏者である、阿部かなえさんと田中とおるさん(シンセサイザー)をお招きし、本堂にて奉納コンサートを行います。哀愁漂う二胡の響きと、キャンドルの柔らかな光に包まれながら、皆さんとともに亡き人々を偲びましょう。そして、お盆の最終日にあたる十六日。この日は午前十一時より、「施食会法要並びにとうろう供養法要」を開催いたします。施食会は、全ての精霊に対し食事を布施し、その功德をご先祖さまたちに廻らす法要です。とうろう供養の法要の後、住職より法話があります。

大安寺ホームページ 掲載内容のご紹介

仏事 Q&A 第二回

◆お墓参りの持参物/方法は?
※以下はあくまで一般的な例です。

【持参物】
念珠(数珠)・線香・ロウソク・ライター・供花・供物(果物やお菓子類、洗米など)・半紙・皿・手桶・水・掃除用具(タオル・たわしなど)・ビニール袋などを持参するとよいでしょう。

【方法】
まずゴミや雑草などを取り除き、古い墓石はたわしで、新しい場合はタオルなどで磨き、手桶の水で汚れを落とします。次に皿に半紙を敷いて供物を載せ、コップや水鉢などにお水を入れ、灯明・供花・線香を供えます。準備ができたなら、合掌しお参りをなさってください。お参り後は、火元に十分注意し、お供物のうち、生ものは墓前で亡き人とともに召しあがるか、なるべくご自宅にお持ち帰りください。(動物が食べ散らかしたり、腐ってしまうためです。墓地の環境保全にご協力をお願いいたします。)

■大安寺ホームページ
<http://www.daianji.jp>

■大安寺携帯サイト
<http://keitai.daianji.jp>



携帯サイト QR コード

大安寺の宗旨: 曹洞宗 本山: 福井県永平寺・神奈川県総持寺 高祖: 道元禪師 太祖: 瑩山禪師
ご本尊: 釈迦牟尼仏 本尊唱名: 南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)